耳鼻咽喉科 · 頭頸部外科

【実習目標】

- ① 耳鼻咽喉科・頭頸部外科で取り扱う疾患範囲を把握し、患者にアドバイスできるように する。
- ② 耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療の基本的診察法を身につける。 (診察の方法を習得し、担当患者にて担当医の指導の下に実習する。)
- ③ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の主要症候を理解し、診断に必要な技能を身につける。 (外来実習前に主要症候と診断のためのアルゴリズムを理解し、外来患者の診察を見学する。)
- ④ 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の検査を理解し、診断に必要な検査の選択ができるように する。

(検査の方法を実習し、外来患者の検査を見学する。)

【注意事項】

- ① 時間厳守(詳細後述)
- ② 服装:白衣を着用し、襟元をきちんとする。足許は靴履き(運動シューズ可)
- ③ 持参物:筆記用具と各自の参考書
- ④ 患者に対する態度:
 - a. 医師らしく b. 冷静に c. やさしく
 - d. 自信にあふれた態度で患者に接し、患者に安心感を与えることが最も重要である。
 - e. 謙虚に

【集合場所】

耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学医局に月曜日午前9時集合

- ・月曜日が祝日の場合は火曜日午前9時に外来へ集合
- ・病気等の理由による欠席連絡は午前9時以降に医局に電話連絡

(TEL: 082-257-5252 E-mail: jibi@hiroshima-u.ac.jp)

医局:研究棟A1階 病棟:入院棟10階西 外来:診療棟2階 手術室:診療棟4階

【指導教員】

教授 竹野 幸夫 准教授 上田 勉

講師 石野 岳志・濱本 隆夫・築家 伸幸

助教 樽谷 貴之・堀部 裕一郎・竹本 浩太・西田 学・川住 知弘

【実習内容】

	9:00	12:00	14:00	
月	[医局]		[教授室]→[10 階東病棟カンファレンス室]	
	オリエンテーション/症候学		教授との懇談→病棟カンファレンス	
			担当医からレポートテーマと	
			症例説明	
火	[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来]		[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来]	
	外来見学		専門外来見学	
水	[手術室]		[手術室]	16:00 まで
	手術見学		手術見学	
木	[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来]		[耳鼻咽喉科・頭頸部外科外来 検査室]	
	外来見学		検査見学	
金	[手術室]		レポート作成	レポート提出期限 17:00
	手術見学			医局にレポート提出

【実習の評価方法・配点】

- ・実習初日に配布する「ポリクリ出席表およびスケジュール表」は、毎回当科担当者のチェック を受け、必ず最終日に提出すること。
- ・実習態度、手術ミニレポート、提出されたレポート等により評価する。配点は「手術ミニレポート 20 点ずつ」「レポート 60 点」の合計 100 点とする。
- ・症例レポートは症例提示(主訴、病歴、既往、手術、術後経過)A4 1枚、テーマについて(レポートテーマについてのまとめと考察)A4 1枚の計2ページ程度を目安に作成。

(テーマ理解度・内容・文献引用・論文としてのまとまり・誤字脱字の有無で評価する。)

- ・手術ミニレポート 書式は Moodle に up されている書式を用いる。 2 つの症例について、病名・ 術式・日付・手術見学で学んだことや感想について記載。
- ・担当症例レポートの作成について

テーマの決定:月曜日の午後に決定する。

提出期限:担当週の金曜日17:00まで。金曜日が祝日の場合は翌週月曜日に提出。

レポートの形式:ケースレポート

- 1. 序文:レポートの内容と目的を明記する
- 2. 本文: 主題にそった記述を参考文献から引用しつつ展開する 例) ……、局所制御が比較的良好とされ¹⁾、……
- 3. 考察:レポートのテーマを中心に
- 4. まとめ:本文を簡潔にまとめる
- 5. 参考文献:正規の記述で列挙すること
 - 例) 1) 夜陣紘治、他:副鼻腔炎の難治化因子。特集 難治性副鼻腔炎の治療。 耳喉頭頸 74:587-590, 2002.

提出場所:耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学医局の秘書へ手渡す。

提出が遅れる可能性がある場合は、あらかじめ TEL か E-mail で連絡する。